



山梨県立

巨摩高等学校



所在地 〒400 - 0306 南アルプス市小笠原 1500-2

電話 055 - 282 - 1163

F A X 055 - 282 - 1104

U R L <http://www.ko.kai.ed.jp>E-mail info@ko.kai.ed.jp

創立 大正 11 年 9 月 21 日

課程 全日制 定時制

利用交通機関 山梨交通バス 十五所経由「戸田町」下車
西野経由「巨摩高校」下車

教員数 46 名 (全日制) 6 名 (定時制)

生徒数 669 名 (全日制) 21 名 (定時制)

課程	1 年		2 年		3 年		4 年	
	男	女	男	女	男	女	男	女
全日制	111	106	97	121	124	110		
定時制	2	3	1	4	5	2	2	2

〔校訓〕 進 修 実 践

〔教育目標〕

高い志と挑戦する気概を持ち、
何事にも主体的に取り組む生徒を育成する

本校は、前身の巨摩高等女学校から 95 年の長い歴史と伝統を持った峡西南地域の名門校です。個性豊かな人材の育成を目指し、校訓である「**進修実践**」の下、誇り高い伝統を維持し現在に至っています。また、文部科学省指定スーパーサイエンスハイスクールの活動実績をもとに、課題探求力を持ち、新時代を切り拓いていける生徒の育成のため日々進化発展を続けています。ユネスコスクール加盟校として、ボランティア活動や海外研修を通して持続可能な社会のあり方について実践的に学ぶことができます。

〔教育方針〕

- ① 「巨摩スタイル」の実践を通して、自ら学び、自ら考える態度を育成し、学力の定着と向上に努める。
- ② 自主・自立の精神とコミュニケーション能力を培い、調和のとれた人格の育成に努める。
- ③ 個に応じた進路指導の充実を目指すとともに、部活動をはじめとする特別活動やボランティア活動のさらなる活性化を図る。
- ④ 生徒の一生懸命な取り組みを評価、支援し、誇りと感動をもって学校生活を営めるような指導に努める。

『巨摩スタイル』とは…、

アクティブラーニングと似た方向性を持ったものですが、発問やディスカッションを通して課題（疑問）を発見する力を養成し、**自ら楽しんで学ぶ姿勢をつける授業形態や学校行事への主体的・協働的な取組を指します。**これからの時代が要請する力の獲得を目指し、**ICT環境を整備して充実した『巨摩スタイル』授業を推進しています。**

〔クラス編成〕

※ 平成 29 年度入学生から、理数コースは「**理数創造コース**」となりました。

理数コースの伝統とスーパーサイエンスハイスクールの成果を引き継ぎ、創造のステージへ。

スーパーサイエンスハイスクールで培った「課題発見力」「課題解決力」の養成を目指します。

1 年次から 2 年次に進級する時、理数創造コースから普通クラスへ、あるいは普通クラスから理数創造コースへの変更ができます。

〔1 年次〕

基礎学力を身につけるために必修科目を中心に学習します。数学や英語では少人数学習を実施して学習効果をあげています。普通科のうち 1 クラスは習熟クラスとなっており、理数創造コースと共に週 2 回の 7 校時授業がおこなわれています。理数創造コースは理科や数学に興味を持ち、実験や演習を通して事象を論理的・科学的に捉えたいと考えている生徒に適しています。

〔2・3 年次〕

生徒一人一人の進路実現を目指して、進路希望に適したクラス編成がおこなわれています。

○文系クラス…文系大学・短大・専門学校・就職を希望する生徒。

○理系クラス…理系大学・短大・看護医療系専門学校を希望する生徒。

○人文クラス…文系国立大学・難関私立大学を希望する生徒。7 校時授業や、国語・英語の授業では理数創造コースとの合同授業がおこなわれます。

○理数創造コース…理系国立大学・難関私立大学を希望する生徒。7 校時授業や、発展応用的な内容の理数授業を通して科学技術の進展に対応できる、創造的な能力を高めていきます。

進路指導

自らを知り、社会を知り、自己の進路実現に向けて、高い志を持って主体的に挑む生徒を育成することを目標としています。本校生の98%が上級学校への進学を希望しており、1年次より、生徒の特性を考慮しながら、進路目標の設定とそれを可能にする学力の向上を目指したさまざまな進路指導を行っています。長期休業中や土曜日の課外講座や学習会、放課後の個別指導(教科・小論文・面接)、職業体験やインターンシップへの積極的な参加、山梨大学との高大接続プログラムなど、生徒個々の実態に合わせた指導が特徴です。また、総合的な学習や探究の時間には、さまざまなデータや資料をもとに生徒自らが進路について考えたり調べたりする中で、自己の考えを表現したり発信することにも重点を置き、自分の生き方を考え、明確な進路目標を設定する機会を設けています。

進路決定数(平成31年3月卒業生)

○国公立大学(24) :

山梨大学(6) 信州大学(1) 静岡大(2) 名古屋大(1)
山梨県立大学(4) 都留文科大学(7) 諏訪東京理大(3)

○私立大学(109) :

山梨学院大(34) 山梨英和大(13) 健康科学大(7)
帝京科学大(2) 青山学院大(1) 明治大(1)
関西学院大(1) 國學院大(1) 北里大(2) 神奈川大(4)
日本大(1) 専修大(3) 東洋大(1) 立正大(2) 他

○短期大学(22) :

大月短期大学(2) 山梨学院短期大学(17)
帝京学園短期大学(2) 信州豊南短期大学(1) 他

○専門学校等(51) :

県立産業技術短期大学校(7) 山梨県立農業大学校(1)
甲府商科専門学校(2) 富士吉田市立看護専門学校(2)
帝京山梨看護専門学校(3) 共立高等看護学院(1)
甲府看護専門学校(1) 県歯科衛生専門学校(1)
県美容専門学校(3) 甲府医療秘書学院(3)
サンテクノカレッジ(5) 他

○就職(6) :

昭和町役場(1) 自衛官候補生(1)
THK株式会社(1) 株式会社 T-MARC(1)

部活動

本校には、体育局17、文化局8、同好会2、委員会12があり、それぞれ活発に活動しています。陸上競技部男子、ホッケー部女子、弓道部女子が強化指定となっています。昨年度は、県高校総体でバレーボール部女子が優勝、弓道女子で国体優勝者を出しました。今年度の山梨県高校総体では陸上競技部男子2位、陸上競技部女子4位、弓道部男子3位、女子4位、女子テニス部3位、新体操個人2位という成績を収めました。また、2月には文化局による「巨摩フェスタ」を開催し、地域の方々との交流を深める活動にも積極的に取り組んでいます。

国際理解教育

グローバル社会の中でますます必要性を増している国際理解教育を推進しています。

姉妹校であるセントラルキャンパス校(アメリカアイオワ州デモイン市)への海外研修ホームステイや、同校から



の留学生の受け入れを通して国際交流を進めています。また、ユネスコスクール認可校として、持続可能な社会づくりを学ぶために、海外研修参加の機会もあります。

このほか英会話教室の活動や国際交流イベント(12月)を行います。

充実した理数系教育

～南アルプス地域の拠点校として～

文部科学省スーパーサイエンスハイスクール(SSH)研究指定期間を終了しました。未来を担う科学技術の人材育成を狙いとして研究推進してきた5年間の実績をもとに、今後も南アルプス地域の拠点校として理数系教育の充実を図っていきます。

「総合的な学習・探究の時間」においては、課題研究発表を通して論理的な思考力や主体的な探究力の育成に努めています。また、自然科学部を中心に櫛形山の環境調査を継続しています。理数創造コースにおいては、SSHで培った発展応用的な理数系授業を展開していること、山梨大学との高大連携講座により、最先端科学に関する講話や体験学習を行っていること、小中学生を招いての科学フェア「わくわくサイエンス in 巨摩高」を推進していることなども特徴です。

主な学校行事

- 5月 土曜講座開始
- 6月 白嶺祭(学園祭)
- 7月 学校説明会 三者懇談 進路講演会
- 8月 夏季課外講座 オープンスクール
- 9月 球技大会
- 11月 修学旅行(沖縄県3泊4日)
- 12月 わくわくサイエンス in 巨摩高校
- 1月 冬季進学課外
- 2月 巨摩フェスタ スキー教室
- 3月 春季特別講座 球技大会



定時制 ～働きながら学ぶ～

働きながら学ぶ単位制の普通科高校で、生徒一人一人の個性を伸ばすことを目標にわかりやすい授業を心がけています。生徒は各事業所やアルバイト等で昼間働き、夜間勉学に励んでいます。

◆**学習形態** SHRが午後5時40分に始まり、授業は午後9時まで4時限おこなわれます。修業年限は4年以上、卒業の認定には74単位以上の修得を必要とします。また、中央高校の通信制の併修で取得した単位を累積加算して3年間で卒業することもできます。

◆**給食** 夜間定時制のため給食を実施しています。

◆主な行事

- 文化的行事 新入生歓迎会、学園祭、教育祭(生活体験発表大会・音楽会等)、予餞会、校外見学会
- 体育的行事 総合体育大会(陸上競技・バドミントン・卓球)、学園祭(スポーツ大会)

昨年度の教育祭では4名の生徒が入賞しました。また、陸上競技では女子総合2位、男子総合4位で全国大会へは7名が参加しました。バドミントンでは男子団体2位、女子団体3位、ベスト8に2名が入りました。